

宇治市教育委員会定例会会議録

日 時 平成25年6月28日(金) 午後6時 開議

場 所 宇治市役所 703会議室

会 議 日 程

- 日程第1** 会議録署名委員の指名について
日程第2 会期について
日程第3 教育長報告
日程第4 議案第12号 宇治市私立幼稚園就園助成費補助金交付要綱の一部を改正する要綱を制定するについて

会議に付した事項 会議日程に同じ

出席者

(教育委員)

委 員 長	西 野 正 博
委員長職務代理者	中 筋 斉 子
委 員	久 富 明 宏
委 員	金 丸 公 一
委員(教育長)	石 田 肇

(出席職員職氏名)

部 長	中 谷 俊 哉	次長(兼教育総務課長)	村 田 匡 子
次長(兼生涯学習課長兼生涯学習センター所長)	藤 原 千 鶴	学校教育課長	上 道 貴 志
青少年課長	小 田 光 雄	教育総務課主幹	前 田 聖 子
教育総務課主幹	井 上 宜 久	学校教育課主幹	安 留 岳 宣
青少年課総括指導主事	出 江 英 夫		

(書記職員職氏名)

教育総務課庶務係長	宇 野 裕 美	教育総務課主事	久 野 晴 香
-----------	---------	---------	---------

開 会 (午後6時)

○**開会宣言** 委員長が6月教育委員会定例会の開会を宣言する。

○**日程第1** 会議録署名委員の指名について

委員長から宇治市教育委員会会議規則第13条第3項の規定により、金丸委員を指名する。

○**日程第2** 会期について

委員長から1日限りとする旨の提案があり、全会一致で決定する。

○**日程第3** 教育長報告

- (1) 平成25年6月市議会定例会について
- (2) 文教福祉常任委員会について(平成25年6月19日)
- (3) 平成24年度宇治市児童・生徒の問題行動と不登校の状況について
- (4) 「要望書」等について
- (5) 宇治市教育委員会後援事業について

以上5件を報告する。

[説 明]

(1) 平成25年6月市議会定例会について

[一般質問] 6月12日・13日・14日 質問議員…15名(うち教育委員会関係5名)

①長野 恵津子 議員

- 市民の健康を守る施策について
 - ・市民スポーツの振興について
- 教育課題について
 - ・小中一貫教育の今後について
 - ・貧困を背負う児童・生徒への支援について

②稲吉 道夫 議員

- スポーツ振興について
 - ・プロリーグチームの誘致について

③石田 正博 議員

○学校の管理計画

- ・現状の学校管理状況について
- ・学校施設改修の考え方
- ・子供たちを守る施策の考え方

④荻原 豊久 議員

○改良・改修について

- ・巨椋第1野球場への進入口改良について

⑤真田 敦史 議員

○教育・子育て

- ・教育振興基本計画について
- ・放課後の子どもの居場所について
- ・学校給食・アレルギー除去食について
- ・京都サンガ ホームタウン化について

(2) 文教福祉常任委員会について（平成25年6月19日）

- ①議案第68号 西小倉小学校耐震補強工事の請負契約を締結するについて
議案第69号 北小倉小学校耐震補強工事の請負契約を締結するについて
- ②議案第70号 宇治中学校校舎改築建築工事の請負契約を締結するについて
- ③平成24年度宇治市総合野外活動センターの指定管理者事業報告について
- ④平成24年度宇治市巨椋ふれあい運動ひろばの指定管理者事業報告について
- ⑤平成24年度宇治市児童・生徒の問題行動と不登校の状況について

(3) 平成24年度宇治市児童・生徒の問題行動と不登校の状況について

小学校における問題行動の報告件数は、平成23年度に比べ63件、23%の増加となっている。問題行動による指導人数の推移については、前年度に比べて延べ人数が155人増加しているのに対して実人数は13人の微増となっており、問題行動を繰り返し起こす傾向が続いている。学年別指導人数では、高学年男子の延べ人数が多くなっている。多発した問題事象としては、いじめの件数が5位から3位に上がり前年度の2.7倍となっており、児童が嫌だと感じた事象、心の負担に感じた事象をいじめと捉え、いじめを漏らさないよう網の目を細かくした結果だと考えられる。

中学校における問題行動の報告件数は、前年度に比べ145件、18%の増加、指導人数は延べ人数で135人、実人数で121人の増加となっている。学年別指導延べ人数は、平成23年度において前年より大幅に減少した2年生男子については、3年生に進級後も前年同学年の人数を下回っているのに対し、平成23年度において前年より増加した1年生男子については、2年生に進級後も前年同学年の人数を大きく上回っており、今後も生

徒との信頼関係に基づく指導の継続が必要である。多発した問題事象としては、前年度に比べ男子生徒の生徒間暴力が減少している一方、悪質ないたずらが増加している。

虐待と思われる事象報告件数は小中学校全体として増加しており、小学校において多い状況である。児童虐待では深刻なケースもあり、家庭や地域との連携を密にし迅速な対応で早期解決を図ることが必要である。

いじめ認知件数として挙げている事象については概ね解決しているが、仲間同士のトラブルからいじめや嫌がらせに発展する事例もあるため、早期発見・早期指導が重要になってきている。

携帯電話やインターネット等に係る問題事象については、携帯電話やスマートフォンの急激な普及とともに増加しており、一つの事象に対して大勢の児童・生徒が関わる事案も発生している。また、トラブルに発展する問題事象がスピード化・広域化・巧妙化し、本市に限らず最近の問題傾向の特徴を示している。

不登校の状況については、不登校は様々な要因が複雑に絡まり発生することから個々により状況は異なるが、これまで減少し続けていた出現率が小学校において増加に転じた要因について分析する必要がある。出現率は小中学校ともに全国の平均出現率に比べて依然として高い数値となっている。また、学校には登校しているが別室登校やふれあい教室へ通級しているなど、不登校傾向にある児童・生徒に対する課題が残っている。近年は、軽度発達障害により人間関係がうまく築けず不登校になるケースも増えつつある。

平成24年度の不登校対策事業の状況は、まずU j i ふれあい教室に小中学校合わせて9名が通所し、改善状況としては、学校復帰した者が2名、日を決めて登校した者が3名、状況が好転した者が4名であった。中学3年生の5名全員が高等学校または専門学校に進学を果たし、休まず登校している。次に、メンタルフレンド派遣事業として大学生を4名の小中学生に派遣し、学校復帰した者が2名、その他の2名も放課後登校や保健室登校できるようになるなど改善が見られ、成果を上げている。また、リフレッシュ教育相談として、市内の各幼稚園・小中学校からの一時的な要請で、校内研修会での講師やスーパーバイザーとして学校カウンセラーを派遣している。24回の派遣を行い、延べ97人が研修やカウンセリング、スーパーバイズを受けた。京都府の予算により学校に配置されているスクールカウンセラーについては、市内10中学校、2小学校を拠点校とし、市内全小中学校で有効活用を図っている。

(4)「要望書」等について

平成25年5月28日付けで、宇治黄檗学園宇治市立宇治小学校長、黄檗中学校長、育友会長、大和田区自治会区長より「通学路の安全対策について」等の提出を受けた。

(5) 宇治市教育委員会後援事業について

宇治市スポーツ少年団野球部会主催の「平成25年度京都府スポーツ少年団軟式野球交流大会兼第35回全国スポーツ少年団軟式野球交流大会」他20件、計21件の事業について後援した。また、京都府中学校体育連盟と共催で「第66回京都府中学校総合体育大会」を実施する。

[質 疑]

[委 員] 児童・生徒の問題行動に対しては、どのような指導を行っているのか。

[事務局] 児童・生徒の様子を丁寧に聞き取りながら保護者と連携し、必要に応じて関係機関とも相談しながら、心の問題にも踏み込むような指導を行っている。

[委 員] 不登校児童・生徒のうち、U j i ふれあい教室に通所している者、メンタルフレンドの派遣を受けている者が少ないのはなぜか。

[事務局] 各校の教育相談部や生徒指導部を通して周知を図っているが、家を出ることが難しい児童・生徒からは希望が出てこない状況である。また、本人の状況により適切な対応は様々であるため、ふれあい教室やメンタルフレンド事業以外にも本人やご家族と相談した上で支援を行っている。

[委 員] 携帯電話やインターネット等に係る問題事象には、具体的にどのようなものがあるのか。

[事務局] スマートフォンの「LINE」という通信アプリケーションを利用して児童・生徒同士が連絡を取り合うことが爆発的に広がっており、その中で1人を仲間外れにするなど、友人同士のトラブルが増えている。

[委 員] そのような事象は「いじめ認知件数」にも数えられているのか。

[事務局] 「携帯電話やインターネット等に係る事象」には、いじめとまでは判断できない友人間のトラブルが数えられているため、「いじめ認知件数」との重複はない。

[委 員] 資料中の「多発した問題事象」におけるいじめの件数と「いじめ認知件数」が一致しないのはなぜか。

[事務局] 「多発した問題事象」にはいじめと判断された事象の延べ件数、「いじめ認知件数」には被害を受けた実人数を記載しているからである。

[委 員] いじめ認知件数として挙げている事象については概ね解決しているとのことだが、そのように短期間で解決できるものなのか。

[事務局] 本市で発生した事象については、年間を通した指導や見守りの中で解決したと認識しているが、見守りを継続している事象もある。

[委 員] いじめが原因で不登校につながっている事象はあるのか。

[事務局] 無いとは言い切れないが、いじめが原因で現在まで不登校が続いている児童・生徒はいない。

[委員] 平成24年度において小学6年生女子の指導人数が大幅に増加しているが、特定の学校において増加したのか。または、市全体として増加傾向にあるのか。

[事務局] 特定の学校における増加が中心である。

[委員] 小規模校と考えられる三室戸小学校にスクールカウンセラーを配置しているのはなぜか。

[事務局] 宇治黄檗学園の開校にあたり、宇治小学校に配置されていたスクールカウンセラーを東宇治中学校区内で移動させることになり、その時点で三室戸小学校周辺地域における不登校が比較的多かったからである。

[委員] 平成24年度において、小学校2年生から小学校3年生にかけて指導人数が急激に増加しているのはなぜか。

[事務局] 学習内容が抽象的になることにより授業中の落ち着きがなくなるなど、不安定な状態になる児童が多い状況である。

○**日程第4** 議案第12号 宇治市私立幼稚園就園助成費補助金交付要綱の一部を改正する要綱を制定するについて

[説明] 本議案は、国の幼稚園就園奨励費補助金交付要綱第3条第3項に定める補助限度額が改正されたことに伴い、宇治市私立幼稚園就園助成費補助金交付要綱に定める補助限度額を改めるものである。

併せて、同時就園する第3子以降について所得制限が撤廃され、国庫補助対象範囲が拡大されたことに伴い、本要綱に定める別表第1において新たに区分7を加え、補助対象範囲を変更するものである。

[質疑] なし

[討論] なし

[採決] 採決の結果、全会一致で可決する。

○**閉会宣言** 委員長が6月教育委員会定例会の閉会を宣言する。

閉 会 (午後6時30分)